

## 研究主題「子供×発見」

子供『が』発見する図工の授業・子供『を』発見する教師の目・子供『と』発見する多様な図工の価値

### I 団体の概要（通称：都図研・tozuken）



＜都図研とは？ ◇ 東京都図画工作研究会の略称＞

東京都各区市町村の教育研究会図工部員、及び新たに東京都公立小学校の図工専科の集合体が、「東京都図画工作研究会（略称：都図研）」である。全国組織「全国造形教育連盟（略称：全造連）」や「全国小学校図画工作教育連盟（略称：全小図連）」、また、「関東甲信越静地区造形教育連合（略称：関ブロ）」の構成団体でもあり、他道府県との造形交流、他校種との交流も行っている。全国に約1,800人いる図画工作専科教諭の約1,300人が都図研の会員である。

本研究会は、昭和23年（1948年）に結成され、2024年度で創立76年を迎えた。毎年1回、全8ブロック地区構成からなる都図研大会を開催し、自主的で自由な精神を伝統に研究活動を継続している。

都図研最新情報は『都図研公式 HP <https://tozuken.themedia.jp>』で発信中！

### II 研究の概要

昨年度の提案授業や夏季オンライン研究会（詳しくは都図研報告書を参照）での提案により、「子供が実感を伴った発見」をするためには、「体や感覚、心に働きかけられる題材設定」、「子供たちの多様な思いを受け止めるための題材自体の余白」、「友達や周りの人との関わり」が大切であることが改めて明らかになった。図工の時間に子供たちに何が起きているのかを見つめてきたことで得られた成果である。

そこで、令和6年度は、「多様な図工の価値」に焦点を当てて取り組んできた。人工知能（AI）の進化や情報化が進む現代社会において、子供たちが実際に経験する機会が少なくなっている。図工におけるものやこと、人との関わりの中で、子供たちが、自分の体や感覚を通して「実感を伴った発見」をしていくことが改めて重要になっていると考える。今年度の研究成果も踏まえ、今後もこれからの社会を生きていく子供たちのために、図工の価値を追求していきたいと考える。



### Ⅲ 研究大会 中央大会 『図工の時間は豊かです』

（大会概要）＜第62回東京都図画工作研究会研究大会中央大会＞

令和6年12月6日（金） 会場：千代田区立お茶の水小学校

（大会テーマについて）

図工の時間に子供たちは、材料や道具などに直接関わりながら、人に本来備わっている様々な身体感覚を働かせて、自分の思いや願いを表している。そして、わたしがわたしらしく、自分なりの見方を見付けたり、新たな価値をつくりだしたりしている。こうした図工という教科のもつ豊かさや、その中で育まれている子供たちの力こそ、これからの社会に必要な豊かさの指標となるものと考えます。

図工という教科には、様々な豊かさがある。その中心にいる子供が豊かであることが、世界を豊かなものにしていく。大会のテーマ「図工の時間は豊かです」には、私たちのそんな願いを込めた。人や世界はもっと豊かで面白いということを示していくことが、この教科の担うべき役割であると考えます。

（図工の時間の豊かさ）

- ・心を動かし、思いをめぐらせる“もの”や“こと”との出会いがある豊かさ
- ・身体感覚を働かせながら自らの手でつくりだす豊かさ
- ・試したりつくりかえたりしながら、自分で選び、自分で決定することのできる豊かさ
- ・多様な考え方や見方が認められ、自己を表現できる豊かさ

（目指す児童像）

自分なりの見方を見付けたり、新たな価値をつくりだしたりしながら、よりよく生きていこうとする児童

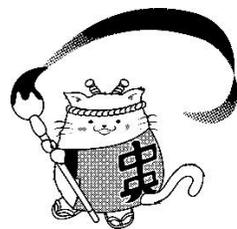
（研究仮説）

図工の時間に子供たちが、感覚や行為を通して、ものや人に関わり、そこで得た経験や記憶を生かして、思いをめぐらせるなど、もてる力を豊かに発揮することができれば、自分なりの見方を見付けたり、新たな価値をつくりだしたりすることができるだろう。

（分科会）

- かんじる分科会（千代田区）
- 記憶分科会（中央区）

- かかわり分科会（文京区）
- めぐらす分科会（台東区）



大会当日は、500人を超える多くの方々にご来場いただき、充実した大会とすることができました。詳細については、令和6年度末発行予定の研究紀要や大会報告に掲載します。ご指導ご助言いただいた教科調査官の小林様をはじめ、講師の皆様、ご講演いただいた白鳥様・岩中様、ご支援・ご後援いただいた教育委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

### Ⅳ 研修会 東京都教育委員会研究推進団体支援事業



研修テーマ『図工で培う力を考える～共につくる～』を掲げ2回の研修会を開催した。多くの先生方が全都から参加した。児童の発達の段階や実態に合わせて、題材や領域のバランスを考えながら授業を計画していく中で、「共につくる」活動をどのように取り入れていくと、児童が満足感を得て、充実した活動や時間につながるのかについて検討した。第1部の実技研修の時間では、4つのグループに分かれ、低学年・中学年・高学年・グループワークの4分科会を順にめぐり、「共につくる」活動に取り組んだ。第2部の全体会では、講師の先生から「共につくる」をテーマにご講演いただいた。児童と同じように‘共に’つくりながら、学びや活動の設定・工夫について一緒に考えることができた。

### ＜令和6年度連絡先＞

団体名		東京都図画工作教育研究会	
代表者	所属	世田谷区立東深沢小学校	
	職氏名	校長 奥長 英樹	
	連絡先	03（3703）1606	
事務局	所属	千代田区立和泉小学校	
	職氏名	主幹教諭 堀江 美由紀	
	連絡先	03（3866）3939	
団体ホームページ	URL	<a href="https://tozuken.themedia.jp">https://tozuken.themedia.jp</a>	二次元コード